

新規就農者受入経営体の紹介 さわぐち さとし 澤口 聡 さん（盛岡市）

執筆者 盛岡農業改良普及センター 千葉美由喜

盛岡農業改良普及センター管内の新規就農者受入経営体の澤口聡さんを紹介いたします。

盛岡市で施設きゅうりとミニトマトの果菜類を中心とした農業経営を行っている澤口さんは、食の生産現場であることを意識しながら圃場や作業小屋をきれいに保つよう管理を徹底し、長期安定出荷に取り組んでいます。

また、パート雇用の計画的な導入により、家族労働の軽減と休日の確保を実践しています。岩手県農業農村指導士でもある澤口さんは、担い手育成に積極的に取り組まれており、今まで8名の就農を希望する長期農業研修生を受け入れ、新規就農者として地域に送り出した実績があります。

現在、ミニトマトで就農希望の研修生を受け入れており、2年目の研修を行っています。研修では、土づくり、苗づくりの基礎技術や計画的な農作業の大切さを伝授するとともに、県内外の視察に研修生も一緒に参加させ、農業経営全般の知識習得を支援しています。

研修生からは、「分からないことを丁寧に教えてもらい充実した研修となっている。」とのことで満足されている様子。澤口さんからも「研修生が、将来、それぞれの地域で農業経営者として活躍してくれることが嬉しい。」と話しており、今後も、就農希望者の研修先として澤口さんの活躍が期待されます。



研修生にミニトマトの管理を教える
澤口さん（左側）



ミニトマト育苗管理の様子